

予 算 審 査 特 別 委 員 会

令和8年3月11日（水曜日）

1. 開 議
1. 議案第22号の審査
1. 延会について
1. 延 会

午前10時開会

出席委員（12名）

一 條 裕太郎 君	二 上 光 子 君
黒 澤 朗 君	佐々木 敏 雄 君
佐々木 みさ子 君	稲 葉 定 君
只 野 順 君	後 藤 洋 一 君
杉 浦 謙 一 君	門 田 善 則 君
竹 中 弘 光 君	大 泉 治 君

欠席委員（1名）

伊 藤 雅 一 君

説明のため出席した者の職氏名

町 長	遠 藤 積 雄 君	副 町 長	大 崎 俊 一 君
総務課参事兼課長 兼デジタル行政推進室長	内 藤 亮 君	企 画 財 政 課 長 企 参 事 兼 課 長	熱 海 潤 君
税 務 課 長	木 村 治 君	町 民 生 活 課 長 参 事 兼 課 長	今 野 優 子 君
福祉課参事兼課長	鈴 木 久美子 君	子 育 て 支 援 課 長	佐 藤 明 美 君
健 康 課 長	徳 山 裕 行 君	総 務 管 理 課 長 参 事 兼 課 長	紺 野 哲 君
産 業 振 興 課 長	三 浦 靖 幸 君	建 設 課 長	岩 淵 明 君
上 下 水 道 課 長	阿 部 雅 裕 君	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	久 道 正 恵 君
農 業 委 員 会 会 長	日 野 善 勝 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	荒 木 達 也 君
教 育 委 員 会 教 育 長	柴 有 司 君	教 育 総 務 課 長 兼 給 食 セ ン タ ー 所 長	宮 まどか 君
生 涯 学 習 課 長	福 山 宗 志 君	代 表 監 査 委 員	城 口 貴 志 生 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	渡 邊 千 春	総 務 班 長	大 平 佳 矢
---------	---------	---------	---------

◎開議の宣告

(午前10時00分)

○委員長（門田善則君） 皆さん、おはようございます。

本日もよろしくお願ひいたします。

ここで、開会前にお知らせいたします。

9番伊藤雅一委員から欠席の届けが出ております。

ただいまから予算審査特別委員会を開催いたします。

直ちに会議を開きます。



◎議案第22号の審査

○委員長（門田善則君） これより、議案第22号 令和8年度浦谷町一般会計予算の質疑を行います。

人件費全般については各款項において行いますので、ご承知ください。

それでは、6ページ、第2表債務負担行為について質疑ございませんか。6番稲葉委員。

○6番（稲葉 定君） おはようございます。稲葉 定でございます。よろしくお願ひします。

債務負担行為のうち、給付型奨学金給付事業、これが9年度から開始するということで、募集が8年度だったりするので、債務負担行為に上げたんだと思いますが、その中身はまだよく分からないだけども、詳細についてはいつ発表していただけるのか。それがよく分からないので、お願ひしたいと思います。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） おはようございます。本日もよろしくお願ひいたします。

こちらの給付型奨学金給付事業でございますけれども、これまで十文字学園等に学生の募集等を行っておりますが、その中で、大学には行きたいけれども経済的に困難だということで断念されるケースが何回かございました。十文字学園には限りませんが、今回の事業については限らないんですけれども、そういった学ぶ意欲があるのに行けないという学生を助けるために、令和9年度から1人50万円の年間の給付型の奨学金を始めようということで今回提案させていただきました。

9年度からとなりますと、令和8年度の募集から、そういったものを申し添えて募る必要があることから、債務負担としたものでございますので、ご理解いただきたいと思います。

○委員長（門田善則君） 6番稲葉 定委員。

○6番（稲葉 定君） 内容について説明いただいたんですが、かねがね私が、前の町長のとき一般質問で、給付型の奨学金をやったらいいのではないかと提案を申し上げたことがあるんですが、そのときの財政事情でもっともできなかったらうけれども、今、奨学金は返済させるということは、すごく子供たちにとって負担だということが新聞とか報道でいろいろ問題になっているので、私は給付型の奨学金がすごくいいのではないかと思います。

それで、今の説明の中になかったんだけど、在学中にずっと年間50万円という給付なのか、どうなのか。その辺がちょっとまだ分からないので、教えていただきたいと思います。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） そのように考えております。

○委員長（門田善則君） 6番稲葉 定委員。

○6番（稲葉 定君） これは究極の子育て支援の、いわゆる仕上げの段階というか、そして大学とかを出て、社会に出てもらうということで、子育て支援の中の一つの事業かなと私は捉えております。ぜひ、これを成功させていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） ありがとうございます。財源として十分かどうか、スタートが来年度となるわけでございますので、また状況を見ながら、議会にもご相談させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（門田善則君） ほかに。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 次に、7ページ、第3表地方債について質疑ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 歳入に入ります。

歳入については一括質疑となりますが、23款町債については省略いたします。

12ページ、1款町税から47ページ、22款諸収入までについて質疑ございませんか。3番黒澤委員。

○3番（黒澤 朗君） 3番黒澤でございます。おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。

18款1項1目細目1のゴルフ場の土地利用貸付料についてでございます。以前にも質疑しましたが、そもそも土地契約は、土地貸付料の契約は金額が決まっているのか、それとも毎年度協議して決めているものなのかを聞きたいと思います。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 貸付料につきましては、令和7年度に改定、630万円から700万円に増額いたしまして、3年間この金額で行くものとしております。

○委員長（門田善則君） 3番黒澤委員。

○3番（黒澤 朗君） それでは、契約で金額が決まっているわけではないと。700万円にはしているけれども、そういう契約書はないということですね。土地の面積からいって2,700万円相当の価値があるという試算も以前お話ししていただきましたけれども、決まった契約があるのなら、毎年その金額を請求すればいいのだろうし、契約がないのなら、その都度決めるなら、決算書を提出してもらい、毎年度協議して決めるのではないですか。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 契約書はあります。契約しているので、3年間につきましては、その金額でまいりますけれども、今2,700万円とおっしゃいましたが、評価額が変わると、その金額も変わってまいりますので、そのとおりの計算になっているかどうかというのはまた別でございますので、その辺については今後ゴルフ場とも協議しながら、適正な価格で貸出しできるように協議してまいりたいと思います。その中で、

必要であれば決算書の提出についても求めてまいりたいと思います。（「了解」の声あり）

○委員長（門田善則君） ほかに。6番稲葉 定委員。

○6番（稲葉 定君） 44、45ページの奨学資金の貸付金元利収入という、この返済に充てた部分のことについて、お尋ねしたいと思います。これは以前、今は貸付けしていないので、新たな分はないんですけれども、奨学資金の返済いただく最終年度は何年までになっているのでしょうか。

○委員長（門田善則君） 教育総務課長。

○教育総務課長兼給食センター所長（宮 まどか君） 申し訳ございません。本日、資料を持参せずに、ちょっと今お答えがすぐできないので、調べさせていただきたいと思います。申し訳ございません。

○委員長（門田善則君） では、後で答弁を求めますので、ご承知ください。

ほかに。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 歳出に入ります。

歳出については項ごとになります。

50ページから53ページまで、第1款議会費1項議会費。1番一條裕太郎委員。

○1番（一條裕太郎君） 1番一條でございます。おはようございます。本日もよろしくお願ひ申し上げます。

議会費について伺います。

まず、議会は行政の監視機能だけでなく、先進事例を学び、政策提案につなげる調査研究機能、そして議長を中心とした対外的な役割も担っているということを前提にお話をさせていただきます。

まず、議員の先進地視察に係る経費についてであります。先進自治体の取組を直接学ぶことは、町政に対する政策提案や議論の質を高める上で重要であると考えます。しかしながら、当初予算では希望していた額が確保されず、予定していた視察先への訪問が難しいという状況であると伺っております。

議会の検査研究機能を十二分に発揮する観点から、こうした視察機会をどのように確保していくのかの考えを予算上の観点から伺いたいと思います。

また、二つ目といたしましては、議長交際費についてであります。議長は議会を代表する立場として、各種式典や対外的な行事に出席する機会が多く、自治体間の関係づくりや礼節を保つ上でも一定の交際費が必要であると考えます。

当初予算では、議長交際費が25万円となっておりますが、参考といたしまして、後に出る町長交際費は240万円となっております。

そこで、こちらも伺います。現在の予算額は、実際の公務対応の中で十分対応できている水準なのかを、こちらも予算の計画という観点からお伺いしたいと思います。

以上です。

○委員長（門田善則君） 取りあえず最初の部分は、旅費の分、旅費は予算を処置しているのを、こっちは要求しているんだろうから。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） それでは、ただいまの件についてご説明申し上げます。

先進地視察につきましては、希望するところに行けないというお話でしたけれども、企画財政課のほうでとい

いますか、執行部で考えましたのは、例年の予算内で先進地視察を行っていただきたいということでの予算措置でございました。遠方であって、どうしてもそこでなければならぬという理由があるのであれば、それはやぶさかではないと思いますけれども、例えば、ふるさと納税の先進地事例を学びたいというのも、たしかあったかと思えますけれども、そういったものであれば近くに気仙沼市など、多くふるさと納税をやっている自治体もありますし、町民1人当たりの納付額が高い自治体とかというのも東北6県の中にもあるわけですので、そういったところを選択していただきたいなと思っているところでございます。

遠くても、どうしてもそこでなければならぬということが納得できるのであれば、それは執行部でも相談して、予算はつけていきたいと思えます。

それから、議長の交際費というお話もございましたけれども、十分かどうかということは、不足が出る場合、どうしてもその年によって必要が出るということが分かっているのであれば、そちらについても途中であっても予算措置等は考えなければいけないと思っております。

終わります。

○委員長（門田善則君） 1番一條裕太郎委員。

○1番（一條裕太郎君） 1番一條でございます。

やはりバランスを見ながらということになるかとは思いますが、先ほども申し上げましたとおり、議会というものの行政への監視機関に加え、研究を重ねていきたいという、そういった思いが各委員にあるかと考えます。先進視察地の機会が十分に確保できない状況にあるとするならば、結果として議会の政策提案力にも影響が出ることもあるのではないかと感じております。

そこで、今またご答弁いただきましたけれども、こういった基準を基に、また必要と判断された場合、今後の予算編成においても、その機会を確保していただくことは十分に可能であるのかということ伺いたしたいと思います。

また、議長の交際費につきましては、先ほど申し上げましたとおり、やはり私も議員1期目ではございますが、議長の公務を見ておりますと、私といたしましては似て非なるものではないかと、私自身の公務と比べると感じる部分があります。

そういった中で、これまでの執行状況を踏まえたときに、公務対応の中で不足が生じたことは今までなかったのか。そういった実態を伺いたしたいと思います。

また、申し添えさせていただきますが、この質問は増額を求める趣旨ではなく、議会を代表する議長であったり、町民の代表である議会、そういったものの現在の予算の実態が見合っているのかを確認する観点から伺うものでありますことを申し添えさせていただきます。ご答弁をお願いします。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 先進地視察につきましては、十分必要であるという判断がされれば、増額は可能かと考えております。

○委員長（門田善則君） 休憩します。

休憩 午前10時16分

再開 午前10時16分

[出席委員数休憩前に同じ]

○委員長（門田善則君） 再開します。

よろしいですか。（「はい」の声あり）

ほかに。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 52ページから75ページまで、2款総務費1項総務管理費。10番杉浦謙一委員。

○10番（杉浦謙一君） 10番杉浦でございます。

予算書53ページ、一般管理経費でありまして、情報公開・個人情報保護審査会委員報酬。情報公開の委員の会議は、報酬としては2万円ほどでありますけれども、どの程度会議を行われているのか、お聞きしたいと思います。

それと、63ページの企画費ですけれども、貸付料として、今回、令和8年度の予算ですけれども、地域振興事業つなぎ資金貸付金として550万円を計上しておりますが、先日の説明では、日本酒の製造に関わる貸付けと。そのほかに、ハトムギが今回ないということで、ハトムギ茶ですよ、この製造は令和8年度はどうなるのかお聞きしたいということでもあります。

それと、69ページ、行政区長関係経費で、行政区長報酬3,706万5,000円となっておりますが、前年度よりも減額になっているということなんですけれども、以前から行政区の再編の問題というものはいろいろ、区長さん、区長会からの要望もあると思うんですけれども、今年度、令和8年度ではどのような、再編は実現するのか、議論中なのか、それもちよっとお聞きしたいなと思っております。

この3点、お願いします。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） それでは、1点目の情報公開・個人情報保護審査会の関係につきまして、お答えさせていただきます。

こちらの審査会につきましては、予算につきましては1回分、4人の審査員となりますので、1人当たり報酬5,000円ということで、1回分を予算では計上しております。

この審査会につきましては、審査に付すべき案件があれば随時といいますか、必要な際に開催いたしますけれども、ここ数年につきましては審査に付すべき案件がございませんので、年1回の開催としまして、年度末に、その年度の情報公開の審査の件数ですとか、そういった状況について年1回開催している状況でございます。

もし必要な案件がありましたら、その分開催しまして、不足する分については補正予算等で要求していきたいと思っております。

終わります。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 貸付けの件でございますけれども、まず日本酒につきましては、これまで造ってありましたところの5年間で引退といいますか、一区切りしたいということで、新しい酒蔵にお願い

して、今新しいものを造っている状況でございます。いろんな物価が上がっていることと、それから新しくなるものですから、50万円を増額して、今回は550万円、お願いしているところでございます。

ハトムギについてでございますけれども、ハトムギ茶につきましては始まった経緯として、漢方ですか……（「生薬」の声あり）生薬のまちづくりということで始まったものがきっかけでございました。

その中で、ハトムギも生薬の一環ということでスタートしたわけですがけれども、今、生薬まちづくりの会も高齢化に伴いまして、活動も縮小、休止している状況でございますし、それから製造していただいているところも、ハトムギ用に改めて作るということをしていただいていたところなんですけれども、それもなかなか困難、必要数を確保するためには、一応こちらでお願いした倍以上の作付をしないと量が取れるかどうか分からないということもございます。残ったものの売却先というものも、今度は生産者でなくてはいけない、そういったリスクもございますし、販売側でも今のところ、好んで飲んでいただいている人はいるものの、売れ残るケースとか、販売も伸びていかないということもございまして、一度ここで立ち止まって考えてみるということで、令和8年度については予算計上をしなかったものでございます。

今後も絶対作らないかという、まだそれは決まっているわけではなくて、やっぱり町民の皆さんからのニーズが多いようであれば、再開についても模索していきたいと思っております。

○委員長（門田善則君） 町民生活課長。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） それでは、行政区の再編についてということで回答したいと思います。

行政区長さんが令和7年度から何名か新しくなられまして、7年度については、新しい区長さん方に一度、1年間経過していただいて、8年度から協議をしようと、意見をお伺いして、進めていこうと考えてはありました。

以前は、大きい行政区の分割というものをちょっと考えてはいたんですが、それよりも人口減少になっておりますので、小さいところの合併とか再編というものを考えていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田善則君） 10番杉浦謙一委員。

○10番（杉浦謙一君） では、2回目でありますけれども、情報公開保護委員の開催の頻度が年1回ということでお聴きしました。予算も1回の分の報酬ということですがけれども、1回というか、結局その案件がないということで開催していないということなんですけれども、実際には、私が考えるのは、大崎市はやっていないんですけれども、涌谷町では高校生の、自衛官への名簿の提出をやっているということでしたので、その点では、やっぱり情報保護の関係では一定の議論はすべき、保護委員会の中での議論というものは必要になってくるし、いろいろ案件があると思うんですね。その点では、やっぱり開く頻度も、もしかしたらあるかもしれません。一つ、私がすぐ考えられることは、自衛官への名簿提出は情報保護法の観点からやっぱり議論すべきだと思います。

そしてまた、ハトムギ、日本酒の製造に関しては、今回ハトムギ茶の製造はないということでよろしいのかということだと思います。これで確認したいと思います。

できれば、結構、涌谷町の視察に来たほかの議会に対して、やはりハトムギ茶をお茶として提供すると、かなり好評がよくて、かなりおいしいということで、ほかの議員さんたちも喜んで飲んでいらっしゃるというこ

ろもあるので、また、うちの家庭でも飲んでいるということもあって、非常に残念だということもあるんですけども、今後再開することも考えられるということでしたので、その点少し。町内に関しては、決して悪い評判はないので、確かに売れ残る部分はあるかもしれませんが、その点をお聞きしたいと。

それと、行政区長の再編に関しましては今後、令和8年度に行政区長、議論し始めるということなのかなと思いますけれども、そういった点では区長さんの区長会での議論を待ちたいなと思っております。

その3点、よろしくをお願いします。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） それでは、情報公開・個人情報保護審査会の関係につきまして、お答えさせていただきます。

こちらの審査会につきましては、情報公開条例ですとか、個人情報保護法に記載してある諮問すべき事項ですとか、審査すべき事項ということで、必要があればという話をさせていただきましたが、先ほどお話にありました自衛官の名簿提出の関係等もございますので、今後そちらに付すべき事項等をもう一度確認しまして、改めて来年度以降、ちょっと審査を検討してまいりたいとも考えております。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） ハトムギについてでございますけれども、私もこれまで推進してきた立場といたしますか、子供にとっても飲みやすい、それから女性にとって美肌効果があるということで推奨してきたわけでございますので、なくなることは残念でございます。

それから焙煎を、一関の焙煎するところをお願いして、製造は富山でやっていたわけなんですけれども、焙煎するところでも、こういった自治体の取組についてはすごくいいことだよなということで、会社からも言われて、やってきたわけでございますけれども、やっぱり続けていくためには、製造する方もプラスになる、販売する方もプラスになる、そして町にとってもプラスということもなければ、なかなか続けていくことは難しいかと思っておりますので、その辺は関係機関と相談しながら、今後もどのようにするか検討してまいりたいと思っております。

ハトムギ自体を町内で作っていただかないと、うたい文句は100%涌谷町産のハトムギを使用したハトムギ茶ということで作ってございましたので、その辺は保持していかなければならないことだと思っておりますので、今後また相談させていただきたいと思っております。

○委員長（門田善則君） 町民生活課長。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） まずは行政区再編については、区長さん方のご意見をお伺いして、進めていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（門田善則君） 10番杉浦謙一委員。

○10番（杉浦謙一君） ハトムギ、貸付けのほうも今後どうなるか期待したいと思っております。

それと、行政区の再編に関しましても、新たな年度でいろいろ議論されるということですので、分かりました。

それと、個人情報保護と情報公開と一緒になっておりますけれども、この点では、やっぱり情報公開の面もそうなんですけれども、町民の方が情報公開を取ると黒塗りになるという部分もあると思っております。その点では、私

は結局、情報保護なり情報公開なりの委員さんがそういった点をやっているわけではなくて、結局、執行部が見せたくない部分は黒塗りにするという事は分かるんですけども、その点ではやっぱり情報公開の委員さんの意見も聴きながら、やるべき問題なのではないかなと思っています。

我々も情報公開を請求すれば、全てが取れるわけではなくて、一定の部分が黒塗りになるということはある程度ですけれども、その点では情報公開に関しましても、せっかく委員会があるのですから、その点ではある程度の、全て毎回やれとは言わないけれども、定期的に、こういうものがあるんだけどどうでしょうかというぐらいは、やっぱりせっかく委員さんを選出されていますし、そういった点では重要な委員だと私は思っておりますので、その点も最後、3回目になりますけれども、答弁いただきたいなと思います。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長 お答えいたします。

情報公開の際に非公開にするものにつきましては、条例や法令におきまして、公開しないことができるとされているものにつきまして、公開しないような形を取っております。例えばですが、法人の場合ですと、公開することによって不利益が生じるですとか、そういったやはり影響が出る部分につきましては、条例や法令に基づき黒塗り等で対応しておったところですが、今後その辺で判断が難しい場合につきましては審査会に付すなど検討してまいりたいと考えております。

○委員長（門田善則君） ほかに、1番一條裕太郎委員。

○1番（一條裕太郎君） 1番一條でございます。

予算書57ページ、実施計画書16ページをお願いします。ふるさと納税事業計画についてでございます。令和7年度のふるさと納税は、件数が3,882件、寄附額が1億3,234万3,500円となり、過去最高の実績となりました。要因といたしましては、米の価格高騰なども背景にあったと考えられますが、やはり一番には、本町の特産品や各課の方々のご努力、そして事業者の方々のご努力も加味しての大きな寄附額になったのではないかと考えております。

一方で、令和8年度当初予算では約3,000件を見込み、1億円規模と前年度実績を下回る見込みとなっております。ふるさと納税は貴重な自主財源であると同時に、本町の魅力発信や地元産業の活性化にもつながる重要な事業であるということでございます。

そこで伺います。令和7年度の実績をどのように分析されているのか。また、令和8年度に向けて寄附額や件数の拡大を図るため、どのような取組を考えているのかをお聞かせください。お願いいたします。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） ふるさと納税につきましては、今委員おっしゃったように1億3,000万円を超えてまいりましたけれども、内容の9割方なんですけど、米でございました。説明でも申し上げたんですけども、米不足、それから米の高騰ということもございまして、米の人气が高かったというのが分析の結果でございます。

これが令和8年度も続くかという、そうではないと。今、米価格も下がってきているところでございますので、そういった状況にはないということでございますので、今年度以上は目指すことは目指すのですが、米の人气、そして大半が米へのふるさと納税だったということも勘案して、今回は1億円で設定させていただきま

した。

今後でございますけれども、やはり喜ばれる返礼品の開発というものが必要不可欠だと思っておりますので、それにつきましては今進めておりますので、端的に言えば肉類なんですけれども、そういったものにも手を伸ばして、町の特産として返礼品の開発が、返戻できる品数といいますか、返礼品が増えることを目標にしているところでございます。

○委員長（門田善則君） 1番一條裕太郎委員。

○1番（一條裕太郎君） 9割方お米だったということでございますが、確かに今後の実情を考えますと、米以外の返礼品の充実、それは非常に重要かと思えます。

そこで、改めて伺いますが、本町では現在、産業振興課が中心となりまして、ウェルファムフーズ社の森林どりを活用した商品開発など、新たな地域資源の活用にも取り組んでいると伺っております。こうした取組は、町の魅力を全国へ発信する上でも大変大きな可能性を秘めていると感じております。

今後、こうした地域資源や商品開発の取組を、ふるさと納税の返礼品としても積極的に活用し、寄附額の拡大と地域産業の活性化につなげていく考えはあるかを伺いたいと思えます。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 今お名前が出たからですけれども、ウェルファムフーズ様におかれましては返礼品ということでの開発をお願いしております。間もなくできることになっておりますけれども、先進地といたしまして、ウェルファム様には鹿児島に工場がございますので、そちらでも返礼品として出しているものがあるので、それと同じようなものでもいいので、何とか涌谷工場でも作っていただけないかということをお願いしております、間もなくそれはできることになっておりますので、ご報告させていただきたいと思えます。

○委員長（門田善則君） 1番一條裕太郎委員。

○1番（一條裕太郎君） 非常に前向きなご答弁でございました。やはりふるさと納税は、財源確保という意味では、子供たちの未来を育む教育費や、高齢者、医療、福祉を支える重要な財源という意味もあると思えますが、一方で、やはり町の魅力を全国に届ける営業ツールとしての役割も担っていると感じておりますので、今課長からのご答弁もありましたが、森林どりを活用した新商品の開発であったり、地元事業者との連携による新たな返礼品の掘り起こし、また季節限定の商品企画といたしまして、間もなく開催される涌谷町の桜まつりや輓馬大会、または夏祭り、かっぱまつりといった昔からの伝統文化、または秋の山唄、そういったものに付随するような形の、現代の金と称せるような町の資源としてのふるさと納税の商品価値を今後も広めていけないかという考えを伺いたいと思えます。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） ありがとうございます。そうやって今委員おっしゃったような商品開発をしていくためには、町の力だけではできませんので、そういった町の皆様のご協力があってこそその返礼品だと考えておりますので、その辺は議員さんたちとも知恵を出していただきながら、そういった商品開発も進めてまいりたいと思えます。

○委員長（門田善則君） ほかに。3番黒澤 朗委員。

○3番（黒澤 朗君） 3番黒澤でございます。

56、57ページの総務費、2款1項1目細目3職員研修費においてでございます。9月の決算議会でも、総務課長が8番議員に対して答弁しておりましたが、今後、庁舎内の人材育成のためにも210万円では足りない。かつてあった職員研修費1人当たり5万円以内の自主研修制度を来年当初に盛り込みたいとお話がありましたが、それは今回の予算に盛り込んだのか、お聞きしたいと思います。

さらに、72、73ページの14目細目1の防犯経費において、過去においても犯罪があったり、今年度は日本中で熊やイノシシなどの出没が問題となっておりましたが、以前にも質疑しましたが、町内の主要な施設や道路に対して、町民のプライバシーにも配慮して防犯カメラを設置してはどうかと思うが、所感をお聞きしたいと思います。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） それでは、まず1点目の研修経費におきまして、自主研修に関する予算を計上したのかということでございますが、当初予算におきましては、自主研修に関する予算は計上しなかったところでございます。これまで自主研修制度を設けまして、職員からの自発的な応募により実施しておりましたが、やはり応募が少ないというか、なかった年もございましたので、もう一度、その辺も手を挙げやすい環境ですとか、そういったところもちょっと検討しながら、今後必要であれば補正予算等で要求してまいりたいと考えております。

また、防犯カメラにつきましては、以前も議会の場で恐らく出たと思いますけれども、そちらにつきましても、制度でしたり、どこにつけたらいいのか、例えば、やっぱり人が歩くところですか、そういったところに必要だと思いますので、施設につけるのか、それとも、そういう商店街につけるのか、そういったところも模索しながら検討してまいりたいと考えております。

終わります。

○委員長（門田善則君） 3番黒澤委員。

○3番（黒澤 朗君） 職員研修におきましては、やはり職員のポテンシャルを高めるという考えの下に、今後、補正、増額して政策を行っていただきたいと思います。

それと、防犯カメラの件ですけれども、隣の美里町においては、防犯カメラに熊が映っていたというお話もありました。何となく、この辺だけで、当町だけが出没していないというのは誠におかしいことで、防犯カメラの設置があれば、そういう発見にも至るのではないかと思うのでありますが、その辺も前向きに考えていただきまして、防犯カメラの設置を、先ほど課長からも前向きな答弁がありましたので、期待するところでございます。

終わります。

○委員長（門田善則君） 黒澤委員、今、予算審査なので、ちょっと今の部分は当てはまらないのかなというように感じがするんですけども、その前の部分でいいですか。（「はい」の声あり）総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 自主研修につきましては、上司とも相談いたしまして、今後検討もしてまいりたいと考えております。

終わります。

○委員長（門田善則君） ほかに。5番佐々木みさ子委員。

○5番（佐々木みさ子君） 5番佐々木です。

61ページの12の委託料、ふるさとワーキングホリデーに関してお尋ねしたいと思います。昨日の課長の説明で、大分、今回は予算金額を拡大したというお話がありました。また、ワーキングホリデーに関しましては、迎える側としては、地方の産業とか地域の活性化、移住・定住促進にもつながる。また、来ていただく方には、働いて収入を得ながら、休日は自由に楽しんでいただけて、地域住民との交流等も活発になっていくのではないかとこの学びですね。今回の金額を拡大した業務内容というか、メニューの違いはどこにあるか教えてください。

○委員長（門田善則君） ちょっとお待ちください。

暫時休憩します。

休憩 午前10時45分

再開 午前10時46分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（門田善則君） 再開しますが、すぐに休憩に入ります。

休憩します。10時55分再開いたします。

休憩 午前10時46分

再開 午前10時55分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（門田善則君） 再開します。

ここで、さきに保留しておりました6番稲葉委員への答弁を求めます。教育総務課長。

○教育総務課長兼給食センター所長（宮 まどか君） 6番稲葉委員へのご質問にお答えいたします。

奨学資金の貸付け期間についてのご質問でございました。貸付けは令和元年度で終了しておりますが、現在償還中の方は15名おり、最後の償還は13年度までとなっております。大変失礼いたしました。

○委員長（門田善則君） 続いて、5番佐々木みさ子委員への答弁を企画財政課長、お願いします。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） お待たせして、すみませんでした。先ほどの質問についてお答えいたします。

昨年度は4人の2回ということで、8名のワーキングホリデーを実施したわけですが、昨年の実施に当たっては協力隊主体でやっております、募集についても、自費で、お付き合いの、自分の卒業した大学だったり、あと里帰りしたときに、そういったところを回って学生を集めたという経緯がございました。

今回は4名の3回の実施を予定しております、かかる費用につきましては、来ていただく旅費については自分で支払ってもらいまして、宿泊費用についてはこちらで持つということで、そちらの宿泊費が値上

がりした。それから、保険代、それから募集に係るチラシのデザイン代、それから、先ほど申し上げました募集に係る人件費として、事前準備のウェブサイトの作成、それから申込みとか顔合わせなどを行うオンライン面談、それから受入れしていただく皆さんとのワークショップの調整、それから年間を通したSNS等の更新とか記事の作成、それから、去年は1人でやったわけなんですけれども、誰かお手伝いしていただくための人件費、それから東京でワーキングホリデーのイベントがあるわけなんですけど、そちらへのイベント参加費などとなっており、昨年度よりは充実した形で全国に広めて実施していきたいと考えております。

○委員長（門田善則君） 5番佐々木みさ子委員。

○5番（佐々木みさ子君） 5番佐々木です。

昨年よりも、今課長がおっしゃったようなことを実施するということなんですけれども、ワーキングホリデーに、例えば募集要項を出して、参加する方たちの面談といたしますか、採用というのは、ここに書いてあります、先ほど課長が言った、地域おこし協力隊も入ってやるものなのか、それとも自治体も参加して行くのか。その辺、お聞かせください。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 今回の実施に当たっては、地域おこし協力隊への委託と考えております。

○委員長（門田善則君） 5番佐々木みさ子委員。

○5番（佐々木みさ子君） 昨年と同じ時期を募集要項に入れるのかどうか。それと、昨年度、参加した人たちの感想といたしますか、いろいろ思うことが、その8名の中であると思います。参加した1人の方とちょっとお話しする機会があったんですけども、農作業をその方は手伝ったそうなんです。そうしたら、すごい暑くて、昨年はすごい暑い時期だったので、それはちょっと大変でしたと。デントコーン迷路に来たときは、今日みたいなことはすごくいいんですけども、ハウスかなんかのお手伝いもあったそうなんです。それで、すごい暑くて大変だったんですよという話を聞いたので、時期はいつぐらいにするのかどうか。その辺というのはやっぱり検討すべきかと思えます。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 昨年実施した際には、お手伝いした農家さんから、この時期ではなく、この時期だったら繁忙期だし、ありがたかったなとかという声もありましたので、時期については検討してまいります。

それから、参加した方の声ということで、私もちょっとしか、来た学生さんたちとはお話ししませんでしたけれども、担当した協力隊から聞いた話ですと、来た方全員、涌谷町のファンになっていただいたという自負があるということでございました。

それから、地元に戻ってから、奈良の子だったんですけども、天平行列に町で行った際に、わざわざそこにも来ていただいて、顔を出してくれたということもありますし、あと町の商品を仕入れて、そちらで販売していただいているという人もいますので、そういった形で1人の学生、学生ではない場合もあるんですけども、人が涌谷町を全国で広めていただく、そして知っていただく機会になればと思っております。

○委員長（門田善則君） 5番佐々木みさ子委員。

○5番（佐々木みさ子君） そのような感想等をいただいて、すごく町としては……ごめんなさい。

○委員長（門田善則君） 大丈夫です。許可しましたので、どうぞ。

○5番（佐々木みさ子君） すみません。ぜひともワーキングホリデーで涌谷町を広めていただいて、また来た方たちも、すごくいいところだということを私もお話したときに聴いていますので、さらによりよい採用といえますか、お願いしたいと思います。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 期待される結果となるように協力しながら、していきたいと思えますけれども、やっぱり町の印象というものは、この町に来て、触れ合った人の人柄がそのまま町の印象につながるということもありますので、前は毎晩ご飯を作ってくれた涌谷のご夫婦もいたように伺っておりまして、涌谷のお父さん、お母さんができたというようなつながりもできたようでしたので、そういった温かいおもてなしをいただいた学生なり人は、やっぱりいい印象で町を宣伝していただけるのかなと思えますので、町に協力していただける方を増やしながら、そういった、いい印象で涌谷町で過ごしていただければと考えております。

○委員長（門田善則君） ほかに。6番稲葉 定委員。

○6番（稲葉 定君） 6番稲葉でございます。3点ご質問いたします。

56、57ページの職員研修費が1点目でございます。ご多分に漏れず、涌谷町は人口減少が最近顕著になってまいりまして、人口減少が進んだということは、今年、来年ではないでしょうけれども、職員数の削減ということ念頭に置かなければいけないのかなと私は思います。ということで、職員数を削減すれば、当然1人当たりの守備範囲が広がるはず。ということは、この研修費はすごく大事なことで、個人個人の職員の能力をものすごくアップしていただかないと、どうにも回らなくなるということの心配があるので、その辺はどうお考えになるのか、お伺いしたいと思います。

2点目でございます。これが62、63ページの、先ほども質問ありました地域振興事業つなぎ資金の関連でございます。先ほど、お酒の部分についても説明ございましたけれども、昨年までの酒蔵がやめたというか、撤退したということはどういうことなのか。やっぱり合わないからなのかというのか、そういった理由が考えられるんだけれども、それはどういう理由で、今回新たな酒蔵さんが見つかったということはとてもよかったと思うんですけども、どういう理由だったのか伺いたいと思います。

3点目でございます。66、67ページのわくや万葉の里施設経費ですか、この中に項目はないんですけども、この間、所管事務調査で生涯学習課にも同様のことを申し上げたんですけども、町内の誘客、観光で電動アシスト自転車がすごく有効ではないかと、私はほかを回ったときに、ありまして、ほかのまちに、すごく有効だったと思うので、ご提案申し上げたいんですけども、町で直接そんなことをできるのかどうか分からないし、結局は、例えば地域振興公社だったり、そういったところをお願いして、そういった事業をするというのか、考えられるんだけれども、その点どう考えるか、お伺いします。

以上です。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） それでは、まず1点目の職員研修経費につきまして、ご回答いたします。

職員数が減っていく中で、職員のスキルアップといいますが、そういった能力を上げるための研修が必要ではないかというご質問かと思えます。やはり近年ですと、生成A I というものがかなり出てきまして、それに向けた研修だったり、それを生かすことによって職員の業務が軽減されるということもございます。

宮城県の研修所では、近年やはり生成A I の関係の研修でしたり、そういったスキルアップのための研修も行っておりますので、町独自でやるというのはなかなか難しいものですから、県の研修所だったり、そういうところで行われるスキルアップの研修に職員を派遣できるように進めていきたいと考えております。

終わります。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 酒蔵につきましては、当初から5年ということをお願いしていたもので、特に、もうからないからとか、そういうことではなくて、価格設定におきましては、マイナスにならないような設定をしておりましたので、当初からの計画で5年間としたものと思っております。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） すみません。電動アシスト自転車につきましては、昨年キックボードを職員用にいただきまして、観光の一助になればということで、実証実験といいますが、やっていますけれども、やはり自転車と違ってスピードも出ますし、危険なこともあるかと思っておりますので、電動アシスト自転車というのは有効なものと考えておりますけれども、維持管理をどのようにしていくのか、そういった面もございませぬし、その辺については今後検討が必要と考えております。

○委員長（門田善則君） 6番稲葉 定委員。

○6番（稲葉 定君） 職員研修のことなんですけれども、職員研修、A I も当然使っていかなければいけないと、そういった時代になったことは確かでございます。ただ先ほど、ほかの方の答弁の中に、職員が手を挙げないという答弁があったんですが、職員が手を挙げないこともあるんですけども、やっぱりこれは業務命令の中で研修を受けていただくということも、ある程度必要なのではないかと。そうしないと、手が挙げなくなれば、誰もスキルアップをしなくなるというか、それはちょっとまずいのではないかなと思うんですけれども、これは業務命令でできるはずだと私は思うんですが、その点いかがでしょうか。

それから、2番目の酒蔵についてなんですけれども、前の「稀世」ですか、商品名を言って申し訳ないんですけども、「稀世」はスパークリングタイプで、なかなか飲みやすくていい酒だなと思ったんですけども、いかんせん私にとっては価格設定がちょっと上かなと思えました。もう少しリーズナブルな、皆さんに飲んでいただけるというか、使っていただけるという設定にできなかったのかなと思います。

そして、酒蔵が変われば当然、酒に使う酵母とか原料の米とかが変わることは当然なんですけれども、なるべくブランド化というか、5年で終わりではブランドにならないので、もっと長期に育てるというか、造るのであれば、育てる涌谷のお酒を造っていただきたいと思うんですけれども、それはいかがでしょうか。

それから、電動アシスト自転車のことなんですけれども、電動アシスト自転車は免許も要らないし、スピードも出ない、電動アシストなので、自力で動かすもので、例えば佐々木家住宅だったり、黄金山神社だったり、少し自信のある方は笹塚寺といったところまで自転車で行ける範囲だと思うんですね。だから、私はそう思っていて、いいのではないかなと。ただ、町でそれを直接メンテナンスして貸付け事業まではしなくていいのかなと

私自身は思うだけけれども、その点どういう実現の仕方があるのか。もし実現しようと思った場合には、そういったことをどう考えるのか、答弁いただきたいと思います。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 先ほど、手を挙げないと申ししたのは、自主研修ということで、職員が自ら研修先を探して行う研修につきましては、ちょっと残念ながら以前、応募がなかったというところですが、令和8年度に予定をしております各種研修、例えば階層別研修と申しまして、5年、10年だったり、あと課長、係長になった際の階層別研修等につきましては、何年目とか、その辺できちんと割り振りして、その年に行くように予定しております。

また、そのほかの業務に必要な研修につきましても、こちらから職員を推薦して、行ってもらうようにしておりますので、それ以外では、やはり職員の手挙げによる研修というものはありますけれども、できるだけこちらから必要な研修については行かせるような形で考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 「稀世」につきましては、これまで好評いただいていたのは、間違いなく好評いただいております。企業立地セミナーなんかにも持っていったんですけれども、市販されていないお酒ということで、そして女性でも飲みやすいということで好評はいただいております。

今後造るお酒につきましても、涌谷町産の米を使って造っていただくということで続けていきたいと思っております。どうしても価格につきましては、小ロットで造ることから、安くはなかなかできないというのが実情でございます。今度造る酒はさらに、米の値段も高かったということもあって、高い値段になるものと考えておりますので、その辺はご理解いただきたいと思います。

それと、電動アシスト自転車につきましては、想定されるものとして、確かに土日、バスも走っておりませんので、観光客が涌谷駅等に来たときに足がないということもあろうかと思っておりますので、本来であれば駅前から、そういった電動アシスト自転車を使って、委員おっしゃったように、自分の行きたいところに自分の足を使って行けるということが理想かと思っておりますけれども、一番問題なのは管理ですね。実際、来たけれども電気が充電されていなかったとか、乗り捨てられたとか、そういったことも考えられますので、そういったものをどうしていくかという管理の問題が一番だと思いますので、その辺のような方法があるか検討してまいりたいと思います。

○委員長（門田善則君） 6番稲葉 定委員。

○6番（稲葉 定君） 職員研修につきましては、やはりどうしても、先ほども言ったように、職員定数の減は避けられない時代が来ると。当然、来年、再来年のことではないんだけれども、そのときに急に慌てても間に合わないということで、これからそういったことに向かって進んでいくということになれば、いざというときに慌てなくて済むということで、よろしく、長期のことについて検討していただきたいと思います。

お酒につきましては、価格設定もそんなにリーズナブルにはできないんだということではあるんです。ただ、どの酒蔵でも今いろんなお酒が、原料の米が上がったということで、値上げ、値上げになってしまいそうな感じではございますが、やはりロットが小さいからということも当然あるんだけれども、ロットが大きくなるような販売量というか、供給量が多くなる方策も考えなければいけないのかなど。私が幾ら飲んでも、そんな1

人では増えるはずはないんだけど、そういったふうに出回る量が多くなれば原価が安くなるということは当然考えられるので、今後その点も研究していく必要があると思います。

電動アシスト自転車については、まだリスクとか、いろんな部分はあるんですけども、よく考えて、来月からやれ、再来月からやれと、そういったことではなくて、検討していただければいいのかなという、ただの提案です。よく考えていただければ、もしかしたらいい方向に進むのかなということで、ここで質問いたしました。

以上です。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 研修につきましては、できるだけ多くの職員が参加できるよう、今後も周知してまいりたいと考えております。

また、町が行う研修、それから研修所以外の研修におきましても、令和7年度、新たに大崎広域で主催しました大崎管内の市町村の若手職員向けの海外研修というものが行われまして、今年の1月に台湾方面に、うちの涌谷町からも2名、自ら手を挙げまして、行ってきた経緯がございますので、そういった外部の研修につきましても有効に活用できればと思っておりますので、今後とも進めてまいりたいと考えております。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） お酒の販売につきましては、広くということがございますので、やはりそれは必要なことだと考えております。今も、黄金大使のプロデュースということで、ファンの方はこぞって買っていただくわけがございますけれども、それ以外にも、飲んでおいしいということで、広く喜ばれる酒になるのが大切なことだと思いますので、やっぱりロットが足りないということであれば、増産ということも出てきますし、増産すればその分コストも下がってくるということも考えられますので、委員も毎日飲んでくださいとは言いませんけれども、少しでも消費につながるようご協力いただければと思います。

それと、電動アシスト自転車の配置につきましては、今後どのような、ほかのところでもやっている事例はあるようがございますので、その辺、参考にしながら検討してまいりたいと思います。

○委員長（門田善則君） ほかに。4番佐々木敏雄委員。

○4番（佐々木敏雄君） 4番佐々木です。私からは4点ほどお伺いしたいと思います。

59ページの、財産管理になるか、企画の財政になるかですが、公共施設の施設管理の照明のリースについてお伺いしたいんです。今回予算には、各課で施設の照明灯のリースが載っておりますけれども、照明灯といいますと、どこまでの部分を照明灯のリースに入るのか。中学校では、工事も含めてリースも計上しています。それから、ほかの施設は、施設のリース料だけ載せていますけれども、今後もこのままリース料だけ載っている施設は、毎年同じように載せるのか、それとも債務負担行為を起こして載せていくのか。その辺の、今後も含めてですけれども、どのように考えているのか、お伺いしたいと思います。

それから、企画調整費、次の61ページになりますけれども、12の委託料の千葉氏サミットの件でございますが、これはいつ開催されて、何人参加を予定しているのか、お伺いしたいと思います。

それから、次のページ、情報化推進経費でございますが、施政方針でもデジタル化の推進ということで大きく載せてあります。それから、第6次の行政改革推進計画が最終年度になるわけですけれども、その中で行政の

情報化ということで、勤怠管理と人事、給与を統一したシステム、それから文書管理システム、それから電子決裁、それから各業務のシステムのクラウド化の推進ということで、担当される方は総務課長1人の人事でいると思うんですけども、この辺の進捗状況とかはどのようになっているのか。予算的には何か見受けられないところでありまして、できていないということはちょっと想定ですけども、何か理由があれば、それをお聞かせいただきたいと思います。

それから、4つ目、73ページになります。防犯灯経費の12の委託料、これも防犯灯のLED化の予算でございますけれども、これは木柱の撤去ということでありまして。木柱以外のコンクリート柱ですかね、それは現存してあるわけでしょうけれども、この場合の所有権といいますか、それはどちらになるのか。リースを頼むということで債務負担はありますけれども、ここにはリース料が入ってなくて、8年度に整備して契約をするという予定なのだろうと思いますけれども、リース料に入るものは電柱というか、そういうものまで含めてリース料とするのか、それとも器具を含めた照明灯をリースとするのか。その辺、ちょっと確認しておきたいと思います。

以上です。取りあえず。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 照明灯のリースということでございましたけれども、そちらにつきましては今、蛍光灯がなくなって、今後LED化になっていくということでございますので、LED化になっていくものと思いますけれども、費用対効果を見まして、LEDのほうがいいのであれば、LED化になっていくものと考えますけれども、建物の耐用年数等を考慮しながら、債務負担が必要であれば、債務負担の措置を取っていきたいと思っております。

それから、2点目の千葉氏サミットでございますが、前は令和3年の8月に第3回目を行ったと伺っております。その際に、次回、参加自治体で災害協定を結ぶということになっておりますので、今回は千葉開府900年ということで、同じく8月21日頃になろうかと思っておりますけれども、そのときに親子三代夏祭り等も同時に開催されるようございますので、それに参加し、協定を結ぶという予定になっております。

参加自治体につきましては、当町を含め12自治体ございまして、当町、涌谷町と一関市、相馬市、南相馬市、千葉市、成田市、千葉県の佐倉市、千葉県の酒々井町、千葉県の多古町、同じく千葉県の東庄町、岐阜県の郡上市、佐賀県の小城市が構成市町となっております。

以上です。

すみません。行く予定にしているものは、町長ほか随行1名と、それからお祭りで物販もする予定でございますので、そちらに3名で行く予定としております。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） それでは、まず3点目の情報化推進に関するご質問ということで、行革推進計画に掲げている事項の進捗状況というお話でございました。

まず、文書管理システムでしたり、電子決裁につきましては、これまでも見積り等も取りまして、検討してまいったところでございますが、まず令和8年度につきましては、今回町長の施政方針にもございましたコンビニ交付を優先的に計上したということで、今回予算には計上はなかったというところでございます。

あとは、財源的なところが一つ問題となりますが、住民の皆さんに関係するデジタル推進ですと、国の交付金は活用できるんですけども、職員だけ、庁舎内のものでしたり、そういったものですと国の交付金を活用できないという問題点もございますので、そういった財源が使えるところもちょっと模索しながら、今後計画を推進できるように努めてまいりたいと考えております。

一応、クラウド化などは一部導入している部分もございますので、先ほど申しました勤怠管理ですとか、文書管理システムにつきましては財源も見据えながら、導入に向けて検討してまいりたいと考えております。

それから、防犯灯の関係でございます。今回、債務負担に計上いたしまして、令和8年度は更新工事を行うということで、予算はまだ発生しないということで計上しておったところですが、一応、基本的には現在、木柱のものにつきましても、木柱を撤去して、例えば、つけられるところであれば電柱等に添架するような形等も検討しております。場所によって、ちょっと変わってくるかと思うんですけども、できれば、また木柱等を立てるのではなくて、別な部分に付け替えができれば、それで対応したいなどは考えておりますが、管理につきましては、一応リース料の中に含む分につきましては、そちらのリース会社の所有という形になりますので、電灯の交換ですとか、器具の交換等につきましてはリースの中でやっていただく方向で一応考えております。

ただ、町内の防犯灯につきましては約2,200基ということで、LED化も50%弱ぐらいにはなっておるんですが、10年ほど前にもつけたLEDについては壊れているものもございますので、今回は全て、現在LEDのものについても改めて器具を交換しまして、リースを行いたいと考えております。

終わります。

○委員長（門田善則君） 4番佐々木敏雄委員。

○4番（佐々木敏雄君） 蛍光灯の交換は、蛍光灯も使えなくなるということなので、必ず、LED以外に何かあるのか分かりませんが、変えなくてはいけないということは目に見えているところで、そこで建物の耐用年数等を見ての予算計上ということですが、中学校とかは結構大きい建物で、今回工事とかをして、リースにするということであれば、全体をまとめてリースにしてしまうというやり方もあるのかなと思うんですけども、その辺の考え方ですよね。業者を分散させて発注するということなのか、1社にして、まとめて町なり、どこか集中的な管理をするとか、そういうやり方も一つかなと。経費を安くする観点からでも、そのようなやり方もあるのかなと思うんですが、その辺の考え方、債務負担行為にしていくのか、それとも集中的な管理をして、やっていくのかという考え方をお伺いしたいと思います。

それから、千葉氏サミットですけれども、これは町長含め6名ということでよろしいのでしょうか。この予算に入っているものは、5名ですか。町長含めて5名ということで、せっかく開催される、今回だと5年ぐらいいなるわけですが、町民の方も巻き込んだ参加ということで、実費でも参加する方はすると思いますけれども、やはり町だけが参加するのではなくて、多く声がけをして、それでも参加できないということであればしょうがないところはありますけれども、何かもう少しそういうものは輪を広げていくような策を取っていただければいいのかなという思いがしますけれども、その辺の考え方をお伺いします。

それから、行革の実施はなかなか難しく、住民へのメリットがあれば給付とか活用できるということです。そうであれば、住民向けの何かというか、情報のものは、施政方針ではデジタル田園都市構想とか出ています

けれども、この中に住民本位の行政サービスということで、そういうことで今回答されたんだと思うんですけども、住民の方はなかなか機械の操作が不得手というか、高齢の方もいるということもあると思うんですが、そういうことがあると思います。

それで、町民の方には使っていただきたいと思うものの、なかなか使いこなせないというようなこともあるんだと思うんですけども、その辺の行政サービスを提供するに当たって、住民の方の操作とか、そういうものの考え方とかは何か。ただ時期を待って、操作できるのを待つという形にしていくのか。住民票の交付とか、そういうものは結構数があるわけではないですけども、防災のシステムとか、そういうものをすぐに聞けるような、そういう環境づくり、今回、防災無線も整備しましたので、町民がそういう操作がしやすいようなサービスは考えていないのか。ちょっと、その辺もお伺いしたいと思います。

それから、防犯灯のLED化ですけども、これは電柱となると、何か占用料がかかるということで、ちょっと常任委員会、私は代わって建設課で聞いたんですけども、それはあるのは知っていましたが、リース会社のものにしてしまうと占用料もかかってしまうかなというところを思うわけですけども、だから、そうすると町のものなのか、リース会社のものなのか、はっきりしないと駄目かなという思いがあって質問しているわけですけども、その辺もう一度考え方をお願いします。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） まず、全体のLED化ということでのお話でございましたけれども、先ほど中学校のお話が出ましたが、今回の中学校のLED化の工事につきましては、みやぎ環境交付金、10分の10、県から来るわけですけども、例年ですと、学校のLED化につきましては、こちらの費用を使って、歳入で来る分をそのまま使って、LED化を進めてまいりました。しかし、蛍光灯がなくなるということもありまして、今回につきましては、この金額以上に上乘せをして、LED化を実施するものでございます。

町全体のLED、リースにしたらいいかどうかということについては、今後検討が必要だと考えております。

それから、千葉氏サミットにつきましては、町民を巻き込んでというお話でございましたので、ちょっと主催者側にも伺ってみますけれども、大分この時期、混む時期でもございまして、宿泊場所の確保にも苦慮するような状況にあると思いますので、その辺、状況を見ながらといいますか、先方とも、そういった参加が可能なかどうかも見ながら、今回、予算措置もしていないわけでございますので、自費で参加していただける方もどれぐらいいるのかということもありますので、その辺、課内で検討してみたいと思います。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） まず、情報推進のほうでございますが、住民の皆さんが、そういった機器などを使いやすいというか、そういった行政サービスということでしたけれども、これまでにつきましても、窓口でマイナンバーカードをかざしますと、申請書が自動で出てくる、そういった自動交付機というものもつけております。

また今、涌谷町の公式LINEということで、そちらで各種情報が、防災無線の情報もですけども、入手できるようになっておりますので、操作だったり、例えばアプリの入れ方ですとか、そういったところについては普及に向けて今後進めていかなければならないのかなと思っております。

また、コンビニ交付サービスにつきましては、他の町村には若干遅れは取りましたけれども、それを導入する

ことによりまして、例えば休日ですとか、夜間ですとか、そういった役場の開庁時間以外でも、どこのコンビニでも取れるということで、その辺は利便性がかなり図れるものかなと考えております。

続きまして、防犯灯につきましては、やはり賃貸借となりますので、器具でしたり、そのものにつきましてはリース会社の所有と認識しております。先ほどありました、電柱等に添架した際の占用料ですとか、その辺につきましては、ちょっと今後調査とはなりますけれども、どちらが費用対効果というか、柱を立てたほうが安いのか、その辺はちょっと再度検討いたしまして、経費のあまりかからないほうで進めたいと考えております。終わります。

○委員長（門田善則君） 4番佐々木敏雄委員。

○4番（佐々木敏雄君） 施設のLED化は、よく考えていただいて、管理しやすいようなことでよろしいかとは思いますが、理解いたしました。

それから、千葉氏サミットも、これは検討しなくてはいけないということなので、ぜひ参加できるように検討していただきたいなと思います。

それから、情報化の関係ですけれども、これは公民館で3月7日に地域協力隊の方の報告会があったわけですが、皆さんというか、全員が全員ではないですけれども、LINEの登録とか、そういうスマホの使い方とか、いろいろと教えているというような報告があって、いろいろネットワークとか、そういうものよりも、本当に簡単な、情報を得るような、そういうアプリの使い方とか、そういうことのほうが町民の方に喜ばれたというようなことを聴きました。

それで、AIとかもいろいろあるようすけれども、何か1人の方は今年で任期満了でということもあるようですが、そのような経験豊富な方の協力なりをいただいて、職員ができないのであれば、延長のような形で協力してもらうような方法もあるのではないかと思いますけれども、その辺は人事関係になるでしょうから、町長か副町長の考えをお伺いしたいと思います。

それから、防犯灯はやはり所有権をきちっとしておかないと後々問題になると思いますので、どこに立っているのかと、それから所有がどこなのか、防犯灯は比較的分かりやすいと思うんですけれども、その辺を十分に注意していかななくてはいけないのかなと思います。その辺もう一度お願いします。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） LED化については了解したということでございますので、千葉氏のほうについてお話しさせていただきますけれども、ご案内が来ているものは、町長と随行1名でございます。先ほど5名と申しあげましたのは、委託料で34万4,000円の予算をお願いしているところですが、千葉氏サミット出展運營業務委託料ということで、こちらに町の物販をしていただくための、そちらに3名を想定しております。それで5名というお話をさせていただきました。

想定しているものは今、公社にお願いしようと思っているわけですが、公社におきまして、この時期、繁忙期ということで、受けていただけるかどうか、まだ決まっておりませんが、ご案内が来ているものは町長と随行1名であることを申し添えさせていただきます。

○委員長（門田善則君） 総務課長。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 防犯灯につきましては、これからといいますか、来

年度から、まずは調査から入りますので、その辺のところをしっかりと確認しながら進めてまいりたいと考えております。

○委員長（門田善則君） 副町長。

○副町長（大崎俊一君） それでは、委員にお答えいたします。

先日の地域おこし協力隊の報告会、残念ながら、ちょっと公務が重なって行けなかったんですが、1人については今回、任期満了ということで、LINEを教えている方については引き続き残っていただけることになっております。現状としましては、住民に即して教えていただく方、1名残りますので、その方でもまず十分なのかなと思っております。

必要であれば、また応援を要請させていただきますし、ほかにもDXに関する専門家の方々に要請しなければならないこともあり得ると思っておりますので、その都度考えていきたいと思っております。

○委員長（門田善則君） ほかに、12番竹中弘光委員。

○12番（竹中弘光君） 12番竹中です。

64、65ページ、地域公共交通対策経費のうち委託料で、高齢免許返納者タクシー助成事業委託料、こちらをもう一回、どのような形で助成しているのか。それと、去年は何人、これで免許返納があったのか教えてください。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） まず、返納者数でございますけれども、30名ほどでございます。

それから、内容につきましては、こちらの事業につきましては、国で実証事業として令和6年度から実施しているものでございまして、予算につきましては10分の10、国の予算が確定した後に行っているものですから、令和6年も令和7年も半年間、10月1日から3月31日までの間に返納していただいた方に、1人一月8枚分、1枚が500円券でございますけれども、そちらを配付しております。

今後なんですけれども、国では縮小傾向にあると聴いております。まだ国の予算は通っておりませんが、これまで10分の10であったものが、令和8年度は8割から10割という表現に変わっておりますので、これは今後続けていけるかどうかについてはまだ未定でございますけれども、そういった事業になっております。

以上です。

○委員長（門田善則君） 竹中弘光委員。

○12番（竹中弘光君） こちらは全部国の交付金を当てにしてやっているということですか。そうしますと、去年が486万円の予算措置がついていて、今30名しかいなかったということで、今回かなり減らした金額になっているんですけれども、一応思ったことは、国の交付金だと言われてしまえばどうしようもないんですけれども、当町でも死亡事故ゼロをずっと続けているわけでございます。運よく、うちのほうでは高齢者の事故というのが、そういう形ではなかったと記憶しておりますけれども、やはり世間一般では高齢者のほうがかなり交通事故というか、その部分の危険性は高いわけでございます。

国で、そういうことで奨励してやっているから、それに乗っかるというのは、それはそれで一つなんですけれども、やはり交通事故等を減らすためにも、なかなか田舎ですので、免許返納という部分をやるには勇気が必要だと考えております。実際ですね。やはり、その部分を単費でも増やして、魅力ある返納の仕方を考える

予定はないのか、お聞きします。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 予算措置につきましては多めにといいますか、100人が返納する見込みで予算措置をさせていただいておりますけれども、毎年返納される方というのは大体30名から40名ということでございますので、予算としては間に合うのかなと思っておりますけれども、委員おっしゃるように、自分が運転に自信がなくなったときに返納するきっかけになるということで、国では実証事業を行っているものと思います。

国の財源がなくなっても続けるかどうかということにつきましては、町の財政もございますので、総合的に考えて必要かどうかを検討してまいりたいと思います。

○委員長（門田善則君） 竹中弘光委員。

○12番（竹中弘光君） 何度もくどいぐらい言いますが、今言った、免許を返納しておけばよかったという事態にならないように、やはり、ある程度魅力があれば、この際、仕方ない、免許返納するかという思いもあると思いますので、なかなか財政的と言われてしまうと、その部分では大変、それで終わってしまうんですけども、検討する余地があるかどうか、町長なり副町長、どうでしょうか。

○委員長（門田善則君） 副町長。

○副町長（大崎俊一君） ご提案ありがとうございます。今回の事業については、免許返納者と免許返納予定者についても該当になるということで、返納についてのきっかけづくりということになっております。

また、返納者についてはバスの無料券も発行しておりますので、町民バスを使っていただくような形でご利用いただければと思います。

返納してしまえば大分、病院に行くのも買物に行くのも不便だというお言葉をお伺いしております。それを全て網羅するのも大変なことでございますので、そこは地域公共交通で考えながら、いい手段を取っていきいたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（門田善則君） ほかに。7番只野 順委員。

○7番（只野 順君） 只野でございます。

項目が結構多くなりますけれども、よろしいでしょうか。

○委員長（門田善則君） はい。

○7番（只野 順君） まずは国際交流事業について、今回、国際交流事業ということで、林川面からの招致事業6名、それから林川面に訪問事業、中学生の訪問と聴いておりますけれども、この内容について詳しく教えていただければと思います。

それから、次の60ページの総務費の活力あるまちづくり大賞事業について、今回新規なんですけれども、各種活動のさらなる活性化を図りということで事業目的がありますが、この団体5件ということで、団体なのか、個人には出さないのか。そのところも2点目、お聞きしたいと思います。

それから……。

○委員長（門田善則君） ページ数を教えてください。

○7番（只野 順君） はい。実施計画のページ数、健康文化複合温泉事業の予算ですけれども、このところ、ペ

ージ数、28ページです。今回、修繕等に予算を取っておるようですけれども、トイレとか、そういった町民の利用、あるいは町外から来ている方たちも大分増えていますけれども、大分傷みが激しいので、その点の修理を含めて、全体として見直さなければならぬのかなと思いますけれども、そういったところについて、まず最初にお伺いします。

それから、ページ数、31ページです。移住・定住促進事業ということで、今回も補助金だけを件数として、金額として856万6,000円上げていますが、もっと積極的に若者の移住・定住を図るためにお試し住宅とか、そういった考えはないのか、そのことについてお伺いします。

以上、この点について。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） まず、国際交流の件でございますけれども、今回につきましては4月10日からの予定でございますが、6名の方がいらっしゃいます。いらっしゃるのは林川面の面長さんと郡の職員が1名、それから林川面の繁栄会の皆さんが4名ということでいらっしゃる予定となっております。

行ったり来たりの交流を今後も続けていくということでございますけれども、新しく予算をお願いしました交流につきましては中学生ではなくて、高校生を想定しております。時期については、まだ詳細を詰めておりませんけれども、これからの募集となると、冬の時期になってしまうのかなと思っております。

それで、涌谷町がどうして韓国との交流があるのか、町の歴史について学んでいただきたいと考えているところでございます。

それから、まちづくり大賞でございますけれども、こちらにつきましては団体か個人かというお話でございましたが、個人でイベントをやっているというのは今のところ聴いていないので、ちょっとそういった事例は今のところはないのかなと思っておりますけれども、多くは団体ではないかなと想定しております。

温泉の修繕でございますけれども、温泉の修理につきましては、修繕費を予算計上させていただきましたけれども、修繕する箇所はもっと多くございます。ただ、今回この程度にとどめたというのは、今回お願いしているものは、ろ過装置の関係でございまして、その辺に関する修繕を見込んでおりますけれども、ろ過装置というものは、機能しないと衛生的に問題が発生するというので、利用者の皆さんの安全を守るためにも必要な修繕ということで今回上げさせていただきました。

温泉につきましては、今年で指定管理から3年ということで、令和8年度は4年目に入ります。そして、令和9年度で指定管理は終わることになっておりますので、令和9年度中には、新たな指定管理を考えるのか、それとも、常任委員会でもお話がありましたけれども、修繕費用がかさむのであれば廃止、休止ということも考えるのかというの、そろそろ考えていく時期でもございますので、その辺を考えながら、修繕についても考えていかなければいけないと思っております。

一番は今、利用するに当たっては、利用していただく方の安全というものを確保しなければならないということで考えております。

それから、移住・定住についてでございますけれども、もっと増やす方策ということで、お試し住宅ということもお話にございましたけれども、今想定されることは、先日、空き家の協定を結ばせていただいた業者がおりますけれども、そちらのほうでよければ、貸出しする住宅等にも充てられたりするのかなということも考え

られますけれども、お試し移住となった場合の、全国的には聴くところによると、お試し住宅をやめているところというの伺っています。というのは、お試し住宅として利用するのではなくて、旅行の宿泊先として利用して、旅費を安く抑えるように使っている方が多くて、やめているということも聴いてもおりますので、その辺も町内に必要かどうか考えていきながら、実施するかどうか検討してまいりたいと思います。

○委員長（門田善則君） 7番只野 順委員。

○7番（只野 順君） まず最初の、林川面との交流事業ということで、高校生ということでしたし、あとは、前回も林川面からの面長さんはじめ涌谷町に来ていただいて、私もたまたま町長と交流をいたしまして、今回は少し若い方たちかなと思ったんですけれども、高校生か中学生か。前は小学生が行っていましたので、それで今回もということで。

一般の町民の方々も含めて、ぜひ交流できるような、私とか、あるいは町長とか議員もそうなんでしょうけれども、できる限り広く募集して、共に交流して、韓国林川面との交流事業は続けていっていただきたいなと思います。

それから、2番目の大賞に関してですけれども、今回初めて企画するわけですので、基準とか、あるいは大賞の要項等々あると思いますけれども、そのところをもう一度お願いしたいと思います。

それから次に、移住・定住促進事業に関してのところですが、私も去年、山形に行ったり、秋田に行ったり、去年かおとしになりますね、お試し住宅をして、今、財政課長が言ったように、旅行のときのついでに使われるとか、そういった話も聴いています。だから、そういったことも対策しながら、やはり涌谷町で住んでいただけるようなPRの方法も考えて、町長の施政方針にも載っていますから、やはり子供を持ったファミリーの方とかなんかの積極的な取扱いというか、事業をしていただければなと思います。

それから、温泉施設に関しては、私も利用していますけれども、今、ヒノキ風呂が壊れています。ただ、やっぱり町内、町外の方も来て、入ってみて、サウナのほうは大分評判がいいようですけれども、トイレが壊れていたり、いろいろ目に見えるものがありますので、ぜひ副町長あたりがきちっと実態を調査して、そして財政処置も含めて見ていただきたいなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（門田善則君） 企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） まず、林川面との交流でございますけれども、今回いらっしゃる際には、国際化交流協会を中心に交流していただく時間は設けております。なかなか時間的に短い期間でございますので、多くの皆さんと触れ合う機会は少ないのかもしれませんが、そういった機会が持てるように今後は考えていかなければならないと思いますし、議員の皆さんも全員ではございませんけれども、お迎えしていただければと思っております。

それから、大賞の基準でございますけれども、こちらは町の補助金等が入っていない事業でされているイベントということにしております。

それから、移住についてでございますけれども、お試し住宅につきましては管理等の問題もございまして、その辺、町で管理するのではなく、そういったものを担っていただける方などがいれば、そういったことも検討してまいりたいと思います。

それから、温泉についてでございますけれども、雨漏りでトイレが使えないというところも1か所ございます

ので、そちらについては修繕料ではなくて、工事費において今回計上させていただいております、屋上の屋根を修繕して、雨漏りを止める計画としておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（門田善則君） 副町長。

○副町長（大崎俊一君） それでは、お答えさせていただきます。

天平の湯につきましては、間もなく築30年ということで、大分老朽化が激しいのは私も承知しているところでございます。大規模改修も必要な時期には来ているのかなと思っておりますので、やはり設備等、建物も含めまして、どこまでもつのかということは調査してみなければ分からないことかなと思っております。それをした上で、大規模改修をして続けるのか、それとも経費がかさみ過ぎてやめてしまうのかということは、議会の皆様において判断していただく時期がそろそろ来るのではないかなと思っております。

調査の時期については、企画財政課には指示しておりますけれども、まだ決まっておりますので、そのところはご了承いただきたいと思います。

また、ちょっと林川面のほうに戻りますけれども、今回、高校生が行くことにつきましては、前々から町長が、若い未来ある子供たちに海外で研修を積んでもらいたい。そのためにも、ふるさと納税の財源を充てて、できるだけ安価で負担がないように行っていたらいいなということで今回企画したものでございます。

また、これまで交流事業については、職員が行ったり来たりしかないものですから、それにプラスアルファとして何かできないかというところで模索して、今回提案させていただいたものでございますので、ぜひご了承いただきたいと思います。

○委員長（門田善則君） 7番只野 順委員。

○7番（只野 順君） 簡潔に行います。

まず、国際交流事業に関しては、町長等々、私も大分前から、行ったり来たりということで、林川面との関係ができていますので、ぜひ若い人たちの国際感覚を養うために今回、特に続けていただきたいと思います。

それから、大賞に関しては別予算というか、そういう予算でございますので、募集して、出てきた方々に対してはいろいろ配慮はしていただければと思います。

さらに、移住・定住に関してなんですけれども、やはり私がちょっと行ったのは、よそを見てきて、そういった施設もあつたり、課題もありますけれども、町長の施政方針の中でありまして、若い方々の移住・定住で人口を増やすという方針がありますので、そのことについてはぜひ行っていただきたいと思います。

それから、温泉については今、副町長が言いましたけれども、大分老朽化が進んでいますので、全体を見て、そして検討していただければと思います。

以上です。

○委員長（門田善則君） 答弁は。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） それでは、国際交流につきましては、職員だけではなくて、若い人の交流も活発になるように今後も続けてまいりたいと思います。

大賞につきましては、今回募集いたしますけれども、表彰につきましては建町記念式で行うということでございますので、議員の皆さんも注視していただきまして、改善点があれば改善してまいりたいと思います。

移住につきましては、町長の施政方針でもございまして、増やしていくつもりでございますけれども、今回は

新婚生活のほうに予算をつけまして、少額ではございますけれども、そちらで町内に5年以上住むご夫婦、29歳以下であれば60万円、それ以外であれば30万円の補助金を出すということを、それをきっかけに町内に移住してきて、こちらで新婚生活を送っていただきたいという方策もございますので、その辺でも移住を増やしていく一つの施策として上げておりますので、ご理解いただきたいと思います。

それから、温泉の維持管理につきましては、副町長が申し上げましたとおり、今後の状況によって、どれくらい費用をかけていくのかということは検討しなければなりませんので、また調査にかかる費用等をお願いするかもしれませんけれども、その際はよろしくお願ひしたいと思いますし、今利用していただいている限りは、利用者の健康面というものは守っていかなければいけないと思いますので、古くなってきた施設、突然壊れる場合もあろうかと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

終わります。

◇

◎延会について

○委員長（門田善則君） お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会したいと思います、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって延会することに決しました。

◇

◎延会の宣告

○委員長（門田善則君） 本日はこれで延会いたします。

お疲れさまでした。

延会 午後0時07分